

遠賀川流域宣言 ～ 母なる遠賀川をより美しい川として次世代へ引き継ぐ～

平成24年1月22日に飯塚市で開催された第3回 I LOVE 遠賀川リーダーサミットにおいて、遠賀川流域の全22市町村長、福岡県知事、遠賀川河川事務所長が一堂に会し、「水源の山々から海までつながり響きあう生命の環を育てる」などとする遠賀川流域宣言を初めて行い、遠賀川にとって新たな歴史を刻む大きな一歩となりました。

この宣言文は、「遠賀川は、22市町村の共有財産であることを認識し、より美しい川として次の世代に引き継ぐ」をコンセプトに、約1年をかけて遠賀川水系水質汚濁防止連絡協議会（国・県・流域市町村など36機関）を中心に協議を重ね、遠賀川水系清流ルネッサンスⅡ地域協議会（学識者・住民代表・行政など委員20名）での意見も踏まえて取りまとめたものです。



遠賀川河川事務所2Fロビーに掲示している「遠賀川流域宣言」(上)
(水源の森の間伐材シートを使用)

「遠賀川流域宣言」の掲示内容(右)
(※宣言文全文は[こちら](#)をクリック)

遠賀川流域宣言

遠賀川は人々に限りない恵みを与え、生活に潤いと調和をもたらす私たちの「生命の川」です。そして産業、経済の礎となって流域の歴史を育んできました。しかしながら、近年における社会経済の変化に伴い、水質汚濁やゴミの不法投棄などにより河川環境が悪化してきました。

私たちは、悠久の歴史を刻んできた母なる川、遠賀川を流域22市町村共有の貴重な財産であると認識し、子や孫、そして将来この流域を訪れるすべての人たちのために、美しく豊かな河川環境とその生態系を守り続けなければなりません。

ここに、流域に住む私たちみんなが連携して次のことに取り組み、遠賀川をより美しい川として次の世代へ引き継ぐことを宣言します。

1. 私たちは、水源の山々から海までつながり響きあう、生命の環を育てます。遠賀川の豊かな水の流れや生態系を守るため、山・川・海と水でつながる流域の人々がお互いを思いやり、一体となって水源の森林や多様な生物の生態・生育環境を守ります。
2. 私たちは、ふるさとの川、遠賀川を誇りに思い、みんなで守ります。遠賀川が、安らぎや愛着を感じるふるさとの風景となるよう、人々の五感に心地よい川づくりに取り組みと共に、川に学び、川を見守る活動を通じて、遠賀川をより深く理解し、大切に守ります。
3. 私たちは、深い感謝の心をもって、遠賀川に礼をつくします。遠賀川をより清く美しくするために、住民、事業者及び行政が連携して、関連する法令を守り、汚水処理施設の整備促進、生活排水対策、ゴミゼロのむねに一斉清掃など日々の努力を続けます。

平成24年1月22日

北九州市長 北橋 健治	遠賀市長 向野 敏昭
飯塚市長 藤藤 守史	田川市長 伊藤 信隆
中間市長 松下 俊男	宮宿市長 有吉 智信
嘉麻市長 松岡 繁	芦屋町長 波多野 茂光
赤松町長 近藤 進也	岡田町長 宮内 實生
遠賀町長 原田 正武	小竹町長 松井 隆徳
鏡子町長 柴田 好輝	桂川町長 村上 利一
浜田町長 田頭 喜久己	伊藤町長 伊藤 良克
川崎町長 寺西 明男	糸田町長 加治 謙二
香村長 小田 季男	大任町長 永原 謙二
	福智町長 浦田 弘二

※敬称略

遠賀川流域の22市町村



流域の22市町村長により、各々署名捺印された「遠賀川流域宣言」



遠賀川流域宣言を読み上げる福智町立赤池中学校の生徒たち



小川 洋 福岡県知事よりご挨拶



流域宣言後、連携に向けて互いに手を取り合う遠賀川流域22市町村長と、福岡県知事(中央)、遠賀川河川事務所長(左端)